

「湯屋の辻道標」の欠損部分が 福岡県東峰村で発見されました！

1. 概要

令和2年6月上旬、福岡県東峰村小石原皿山地区にある旧工芸館跡地で、中津市の湯屋の辻に建立されていた道標の下半分が発見されました。道標は地表面から高さ81.5cm、幅18.5cmの四角柱状で、四面に「中津道」「小倉道」「宇佐道」「珠日田道」と深く陰刻されています。「珠日田道」の字から「玖珠」の玖字があったとみられ、上部が欠損した道標であることがわかります。

◆東峰村日本工芸館小石原分館跡所在道標



「中津道」



「珠日田道」



「宇佐道」



「小倉道」

旧工芸館を共有で所有していた内の1人が「この道標を元の場所に還してあげたいが、どこのもかわからない。」と東峰村教育委員会に相談し、銘文から中津市付近のものと予想した村教委より、中津市歴史博物館に相談がありました。

調査の結果、現在上半分だけ残っている湯屋の辻の道標の下半分であることがわかりました。湯屋の辻の道標は、江戸時代に設置されたものです。昭和59年に用水路工事中に下半分が折れて失われた状態で発見され、平成23年に下半分の所在不明のまま現位置に復元設置されています。

◆湯屋の辻所在道標（中津市大字相原 ハートフル動物病院敷地内）



「従是北」



「従是南」



「従是東」



「従是西」

お互いに現地にて道標を確認し、字体等から当村の道標は湯屋の辻の道標の下半分で間違いないことを確認しました。道標は9月3日に中津市歴史博物館に寄贈される予定です。元位置への設置については今後その方法などを検討します。一度現地から失われた石造物が元の場所に戻ってくることは非常に珍しいことです。

2. 展示予定

中津市歴史博物館では、今回の発見と寄贈を受けて9月8日（火）より、道標の発見経緯や湯屋の辻についての速報展示を行います。

期間：令和2年9月8日（火）～9月22日（火・祝日）

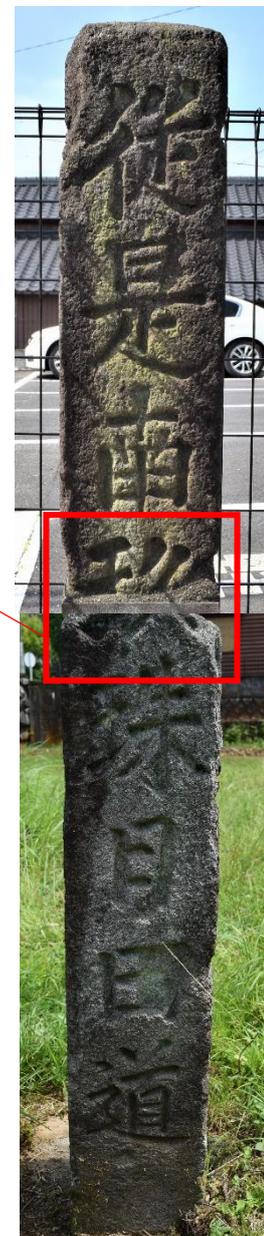
場所：中津市歴史博物館オープンギャラリー

観覧料：無料

【問合せ先】

中津市教育委員会 歴史博物館

TEL：0979-23-8615



従
是
南
玖
珠
日
田
道

玖